

10月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成26年10月21日（火）13時53分～15時25分
- 2 開催場所 杵藤広域圏事務局 2階大会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、古場委員長職務代理者、前田委員、河内委員、
浦郷教育長
事務局：溝上教育部長、諸岡こども部長、大宅教育総務課長、
徳永学校教育課長、牟田未来課長、古賀スマイル学習課長、
杉原図書館・歴史資料館長、山頭学校教育課参事、
前田文化・学習課文化財係長、樋渡教育総務課総務係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【前田委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 平成26年9月定例教育委員会会議録 【原案どおり承認】
- 8 教育長の報告 前回以降の報告
 - 1 児童・生徒の活動について
 - 2 いじめ防止について
 - 3 官民一体型学校の設立について
 - 4 ICT教育の推進について
 - 5 その他
- 9 議 事
 - (1)提出議案
議案第21号 武雄市学校薬剤師の委嘱について
【原案どおり議決】
議案第22号 平成26年12月定例市議会へ提出する教育関係条例の一部改正について
【原案どおり議決】
議案第23号 平成26年11月臨時市議会へ提出する議案について
【原案どおり議決】
 - (2)協議事項
- 10 各課等からの報告
- 11 次回開催日程について
【平成26年11月20日（木）10時00分～ 市役所3階会議室】
- 12 その他
- 13 閉会

午後 1 時 53 分 開会

○委員長

時間前でございますが、全員出席していただいているようですので。

何か人間中心に考えれば「異常気象、異常気象」と言うけれども、人間の営みが異常であって、それをそのまま受けているのが自然の気象じゃないかなという感じがいたします。その異常気象がやっと落ち着いたような感じでございます。

では、10月の定例教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

きょうはこの定例委員会の後、臨時の教育委員会を予定しておりますので、スムーズに進みますように御協力をお願いいたします。

まず、議事録署名人の指名でございます。今度は前田委員さんでございます。

○前田委員

はい、承知しました。

○委員長

いいでしょうか。よろしくお願いいたします。

次、前回の会議録の承認でございます。9月25日分でございます。何かございましたらどうぞ。

○A委員

細かい点はもう電話いたしました。

○委員長

よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、記録のとおり承認と決定します。

では次、教育長の報告に移ります。教育長お願いいたします。

○教育長

それでは、前回以降のことについて報告をいたします。

一つ一つが大きくて、話せば非常に時間をとるんですけども、ちょっと簡単に、不明な点は後でお尋ねください。

大きく5点を考えておりますが、まず1つは、児童・生徒の活動についてであります。

10月も引き続き、町民運動会とか、あるいは学校との合同運動会等が開催されまして、大変、児童・生徒の活躍が見られたところであります。

杵島・武雄地区の中学生の駅伝大会があつておりまして、武雄中の女子、武雄北中の男子が県大会出場を決めております。これは11月7日に県大会が福富で開催されます。

それから、川登中の立志式がありまして、成長を喜び合う貴重な時間を設定してもらって

おります。

また、先日の小・中学校の音楽会では、各学校とも非常に練習の成果を発揮され、充実した内容でした。たくさんの保護者の方々も大変満足をしておられました。

先週末から土曜学習会がスタートしております。熱心に取り組んでいる姿が見られました。今年度はコーディネーターを任命しての授業ということになっておりまして、少しでも学校の負担を軽減したいと考えております。

2番目に、いじめ防止についてであります。

先般のいじめの事象が社会体育の場も絡んでいたということに鑑みまして、社会体育指導者の研修会を予定いたしております。

それから大きな3番目としましては、官民一体型学校の設立についてであります。けさもそうでしたけれども、区長様方、非常に協力をいただきまして、各小学校区で協議会を設置していただいて真剣な議論をいただいております。きのうから申請書の受け付けを行っているところです。今後、選考委員会を開催し、ヒアリング等を行い、状況を把握した上で設置校を確定していきたいと思っております。

4番目、ICT教育の推進についてであります。1つは、昨年度いただいた推進協議会の第2次答申に沿って、27年度の中学校全生徒への配付を目指して準備を進めているところです。

2つ目としまして、スマイル学習についてであります。引き続き各学校の公開授業を続けておりまして、先週の山内東小には、遠く弘前市とか、あるいはいろんな大学の研究者とか、有田町の民生委員会の方とか、非常に幅広い関心と呼んでいるということを感じております。

それから3つ目としましては、プログラミング教育については、昨日を第1回としてスタートしたということです。

それから4つ目としまして、総務省、文部科学省の先導的ICT教育推進事業に選定されておりまして、北方小学校、北方中学校を中心に進めていきたいと思っております。

なお、これは全国3地域の指定ということになっております。3年間の予定です。

大きな5番としまして、1つ目は、県立学校再編の1次案が出されまして、現在、パブリックコメントを求められているところであります。もう御承知のとおり、杵島商業、嬉野高校、塩田工業ともに分校舎という案が、今、出されている形でありますので、今後とも注意深く見ていきたいと思っております。

2つ目としましては、県民体育大会が今度、白岩体育館での開会式でスタートいたします。スポーツ係を中心に準備を進めてもらっております。

3つ目としまして、市長が政府の教育再生実行会議の第3分科会の有識者メンバーとなりました。それもあってかどうかはわかりませんが、文科省等からの視察も非常に多

くなっております。極めて関心を持たれているときでありますので、事務局にも非常に負担をかけておりますけれども、着実に推進していきたいと考えているところです。

今日この後、不登校の子どもたちについての状況を御理解いただきたいということでお願いをしております。要するに、非常に目立つことが多い訳ですけれども、きちんとすべきところというのが当然あるわけでありますので、不登校であったり、いじめであったり、問題行動であったり、そういう子どもたちの行動はもちろんですけれども、職員についても時々不祥事での処分等もあっておりますし、あるいは精神疾患等で休まれる方の話も聞きますし、また人事の時期等にもなつてまいりますので、きちんとすべきところを見きわめて進めていきたいと思っております。

以上です。

○委員長

ありがとうございました。

ただいまの報告でございます。何か御質問ございましたらどうぞ。

○B委員

官民一体型の学校の選定についてなんですけれども、私が聞きそびれてしまいまして、今後、何校設定する、何校と数はおっしゃっていないですかね。

○教育長

2ないし3校ということで進めております。申請書が出てくると思いますので、その申請書の内容等を検討しまして、そして、なるほど可能だということをお願いしたいということとで。

○B委員

ありがとうございます。

○委員長

ほかにございませんか。よろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

次に、議事に移ります。

議事の中で、第21号議案、第22号議案に、きょう追加議案として第23号議案があります。ちょっと確認ください。3つ議案があります。

まず、第21号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について御提案をお願いいたします。

○教育総務課長

2ページをお願いします。

第21号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について提案いたします。

東川登小学校薬剤師から辞退申し出がありましたので、武雄市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する規則の規定に基づき、次の方を武雄市学校薬剤師に委嘱したいので、教育委員会の議決を求めるものでございます。

委嘱いたします方は、学校名が東川登小学校、所属は川登薬局でございます。

3ページのほうに、武雄杵島地区薬剤師会のほうから推薦されました文書の写しのほうを掲載しております。

以上、御審議の程よろしく申し上げます。

○委員長

第21号議案でございます。何か御質問はございませんか〔「異議なし」と声あり〕。

では、第21号議案は原案どおりで可決されました。

次に移ります。第22号議案 平成26年12月定例市議会へ提出する教育関係条例の一部改正についてでございます。

説明をお願いいたします。

○教育総務課長

第22号議案でございます。平成26年12月定例市議会へ提出する教育関係条例の一部改正でございますけれども、理由といたしましては、条例の改正につきましては議会の議決が必要でございます、議会の議決が必要な議案につきましては教育委員会の意見を要するということから提案するものです。

今回、小・中学校施設使用料とテニスコートの使用料について料金の統一を行いたいということで、関係いたします武雄市立小中学校施設使用条例と武雄市体育施設設置条例の一部改正について教育委員会の意見を求めるものです。

最初に、武雄市立小中学校施設使用条例の一部改正についてでございますけれども、小・中学校の施設使用料につきましては、合併時から旧武雄、山内、北方で違いがございまして、不平等感があるというところから統一する方向で検討を進めてまいりました。

改正内容につきまして、5ページの改正案と現行の比較表のほうをお願いしたいと思います。

旧武雄市の料金を基本に、現状の山内、北方の料金を勘案して、使用する時間帯によりまして、午前9時から午後1時、午後1時から午後5時、午後5時から午後10時という3つの時間帯ごとの新料金の設定を行っております。

屋内運動場につきましては利用しやすいようにということで、全面使用と半面使用に分けて設定をしております、今、建築しております武雄中の武道場のほうもここに入れております。

分校につきましては面積が狭いということで、屋内運動場の料金につきましては半分、屋外運動場のほうも半分ということで料金の設定をしております。

それから、校舎の使用料でございますけれども、旧武雄市のほうの校舎使用に至っておりますけれども、貸すケースというのはありますけれども、料金が発生するケースが、団体といいますか、そういうことはほとんどないということから、改正では料金を設けないとい

うことにしております。

それから、今回改正することによりまして条例は1本になりますので、照明施設の使用料について、これは山内町の小・中学校の照明施設について限定しておりました武雄市立小中学校照明施設使用料条例につきましては廃止することとしております。

それから、使用料の徴収でございますけれども、済みません、別紙で、お配りしております減免基準（案）のほうで、統一した減免を行いたいということで考えております。

まず、減免基準の1ページのほうには、目的とか、考え方、定義等について記載をしております、2ページのほうには減免、免除等の基本的な考え方について書いております。

3ページのほうに、具体的な団体と減免・免除等についての考え方を示しておりますので、ちょっと説明をします。

まず、市、それから市教委が主催、共催する行事、それから、市内の小・中学校、幼稚園、保育園等が使用する場合、それから、社会教育団体がバレーとかバドミントンとかで利用する場合、あと、市の施策に沿った形で行う子どもクラブ、婦人会の利用の場合とか、市民の福祉向上に寄与する目的で行います行事とかで社協とか行政区、自治公民館が活用する場合、あと、青少年の育成関係でPTA等が使う場合につきましては、使用料は徴収しないということで、100%の免除ということで考え方を設けております。

それから、市内の高等学校とか老人福祉施設、それから、市内の社会教育団体が入場料とか参加費をいただいてから利用するような、ダンスとかヨガ教室等につきましては50%減額、あと、同じく市外の幼稚園とか保育園、学校が利用する場合につきましても50%減額で、市外の団体とか企業につきましては免除はしないという基本的な考え方を持っています。

それと、4ページのほうには登録申請書ということで、減免・免除をする団体につきましてはこの申請書のほうを出してもらって、基本的には施設管理者の判断で減免をしていただくということで考えております。

それから、体育施設設置条例の一部改正でございますが、先ほどの議案の6ページ、7ページのほうを参照方お願いしたいと思います。

今回改正を行いますのはテニスコートについてでございます。天神崎公園のテニスコートと山内中央公園のテニスコート、それから、北方運動公園にありますテニスコートの使用料について、料金体系がそれぞれ異なっているということから見直しを行いまして統一をしていくというものです。

天神崎のテニスコートにつきましては、個人使用料と占用使用料ということで2本立てにしておりましたが、今回、1面1時間当たりの使用料という形に統一して、山内、北方のほうもそういうふうな形で同じような形に統一しております。

それから、天神崎のテニスコートですけれども、山内と天神崎のコートにつきましては人工芝のコートがございます。それと、北方と山内については軟式の土のコートもございます

ので、それぞれ分類して料金を設定しております。

天神崎と山内中央公園のほうは、人工芝につきましては市民の利用が200円ということで、市民以外につきましては400円と。それから、軟式の山内と北方のテニスコートについては、市民が100円、市民以外が200円ということで設定をしております。

夜間の照明使用料につきましても1時間当たり300円ということで、市外の利用につきましては600円という改正案をお願いしております。

改正の主な内容につきましては以上のとおりでございます。

条例の施行日でございますけれども、いずれの条例につきましても平成27年4月1日としたいと思います。

以上、簡単でございますけれども、提案いたします。よろしく御審議お願いいたします。

○委員長

ただいま第22号議案を説明いただきましたが、質問ありましたらどうぞ。

○A委員

済みません、ちょっと1点だけお願いします。

6ページのほうですが、天神崎公園テニスコートとか、山内中央公園テニスコート、現行では使用時間の区分が、午前5時から正午までとか、正午から午後5時、午後5時から9時とか区分がありますが、今回の改正後では、1面1時間当たりの単価は入っておりますが、この供用時間、何時から何時まで利用できますという時間というのは別に定めてあるんですか。

○教育総務課総務係長

体育施設の設置条例の最初にですね、その時間帯が定めてありまして、その時間帯によって1時間当たりとしております。

それともう1つ。山内のほうについては、朝の時間帯が午前5時から8時半まで使った分、3時間半を100円と設定をされておりましたけど、それを今回1時間当たりと定めております。

○A委員

はい、ありがとうございました。

○委員長

ほかに御質問ございませんか〔「なし」と声あり〕。

説明を私が聞き漏らしているかわかりませんが、私から。

この使用料金、200円とか400円とか、これは何か基準というのですか、根拠というか、何かそういうのがあって幾らとあるんですか。今まで、例えば山内町なんかは100円のようにしたけれども、ここには200円と出てきていますけれども、この金額設定は。

○教育総務課総務係長

使用料につきましては、当初考えるときには、その施設の維持管理費とかいうのを積み上げてするのが基本でありますけれども、今回については統一ということで、山内のほうが100円、天神崎が420円という占用料でした。これを統一するにあたって、山内の100円に合わせるのは余りにも安過ぎるということで、現行料金を勘案しまして200円が妥当だろうという金額で設定をしております。ただし、土のほうについては維持管理もかかりませんので、100円という形で据え置き金額としております。

○委員長

それともう1つ、天神崎テニスコートは200円、山内も200円、しかし、北方は市民の場合100円と、テニスコート、市内全部じゃなくて、その違いがあるのはどうしてですか。

○教育総務課長

北方の場合、土のコートなんです。山内と天神崎の場合の200円というのが、人工芝のコートです。

○委員長

ああ、人工芝ですね。

○教育部長

補足でございます。今回は統一ということで、基本的には受益者負担ではありますが、なるべく市民の負担をふやさないという見地でも検討をもちろんしていました。そういうことで、確かに先ほど委員長がおっしゃいましたように、山内のテニスコートが100円増とはいえ倍になるという感覚はありますけれども、ちょっと参考にさせていただきたいのが、一番多く使うのが夜間なんですよ。ですから、今までは使用料100円と、もう1つ、6ページの一番最後にありますテニスコート1時間当たり、照明使用料が430円だったんですが、それを今回統一して、これについては300円に下げしております。ですから、同じ夜間1時間使えば、山内の人でも130円下がって100円上がるので30円は安くなるという形で、急激な増は見込んでいないということで御理解をお願いしたいと思います。

○委員長

はい、わかりました。

○教育総務課長

一応市外のほうが高くなっていると、倍になっていきますけれども、周辺の鹿島とか伊万里、それから嬉野あたりを見ましても、市外については高いほうに設定されておりますので、そこら辺を参考にしております。

○委員長

ありがとうございました。

ほかに何か御質問ございませんか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、原案のとおり可決いたします。

では次に、第23号議案 平成26年11月臨時市議会へ提出する議案についてでございます。
提案をお願いいたします。

○教育総務課長

追加資料のほうの1ページをお願いします。その2です。

第23号議案 平成26年11月臨時市議会へ提出する議案について提案いたします。

まず、1ページの提案理由のところ、「3000万」としてありますが、ここを「2000万」のほうに修正をお願いします。「2000万以上の備品購入は議会の議決が必要であり、」と、済みません、修正をお願いします。

理由といたしまして、2,000万円以上の備品購入につきましては議会の議決が必要であるということで、議会の議決が必要な議案につきましては教育委員会の意見を要するというところで提案をいたすものでございます。

今回、武雄市立中学校のタブレット端末の機種等が決定をいたしましたので、購入契約を行いたいということで教育委員会の意見を求めるものです。

補足説明のほうをスマイル学習課長が行います。

○スマイル学習課長

今回の議案の内容でございますが、武雄市小中学校タブレット端末導入選定委員会からの答申に基づきまして、決定、報告に基づきまして今回提案するものでございます。

納入企業につきましては株式会社エデュアス、導入端末につきましては、端末台数が中学校、生徒共有予備台を含めて1,550台ということで、Android 4.4を搭載した10インチのタブレット端末ということに決定をしております。契約額につきましては、現在、仮契約の準備、調整をしておるところでございますが、9月議会で御承認いただいた予算措置9,866万9,000円の範囲内で行うとしております。

2ページをごらんください。

先ほどお話をいたしました武雄市小中学校タブレット端末導入選定委員会より教育長のほうへ、「武雄市中学校タブレット端末の選定結果について」ということで出されました内容につきまして、先ほど申し上げたとおりでございます。こちらのほうがその選定結果の報告の写しでございます。

このタブレット端末の選定委員会につきましては、8月から10月までかけて計3回の選定委員会を実施いたしております。

また、中学校から、この選定におきましては、当時、武雄市ICT教育推進協議会の最終答申のもとで、タブレット端末の選定、7インチから10インチのインチ数で検討すべきという最終答申に沿った中で、現場より、中学校につきましては小学校より画面の大きい10インチが望ましいという声がまず出されたところでございます。小学校につきましては、プロポーザルによる企業提案で、企業及びそのタブレット端末の選定を行ったところでございます。

今回は、まず1つは、中学校の校長会より小中継続した形で学びが実現できる機種選定のお願いをしたいという要望がまず出されております。それと今回、3回の選定委員会を行う中で、選定委員の皆様からは、小・中学校で一貫した端末の活用、管理を行うことで、経費の大幅な削減と、また管理上、効率的かつ円滑な業務遂行が望まれるということもありましたので、小学校、中学校は同じ企業での端末を導入することが望ましいのではないかという結論の中で、ただ、画面につきましては、中学校は10インチのほうがいいのではないかとということが最終的に10月15日の選定委員会で決定され、翌16日付で選定委員会のほうから報告が出されたということでございます。それに沿いまして、今回11月に開催されます臨時議会への契約の準備を進めているところでございます。

3ページ、4ページが実際のカatalogでございます。ちょっとこれだけではわかりにくいかもしれませんが、こういう小学校より一回り大きいタブレット端末でいきたいという形で選定委員会のほうから報告が出されたところでございます。

補足説明は以上でございます。

○委員長

以上のように第23号議案の提案がありました。

御質問ありましたらどうぞ。A委員さんどうぞ。

○A委員

先ほど画面が小学校より一回りちょっと大きいということでお話があったんですが、やっぱり小学校6年生が中学校へ行くときはスムーズに扱えるのが一番いいと思いますが、ほかに中学校のタブレット端末が小学校の分と違って、よくなったとか、グレードがいいとか、何かそういうふうな特徴もございますか。

○スマイル学習課長

端末自体は、このオペレーションシステムというのが、例えば、WindowsとかAndroidとかというのがあるんですが、今回、小学校と同じAndroidという、要は、機械を動かすもととなるものが同じものであるという中で、今回この4.4というのは小学校に入っています4.2よりもグレードアップされた形であるということと、小学校で導入した機種での反省点を生かしていろいろ、例えば、画面の強化とか動作の機敏性といえますか、そういうものをある程度企業も改良されているということを伺っております。

○委員長

C委員さんどうぞ。

○C委員

そうすると、この機種については中学校の校長会から小学校からリンクしたものという要望があったということをおっしゃっていますが、これはリンクしているわけですか。

○スマイル学習課長

小学校と中学校、タブレット端末導入選定委員会でまず決めるのが、タブレット端末と、それに入る学習支援システム。今、小学校で、学習支援システムで「C-Learning」という製品を使っておりますが、タブレット授業の最後に、例えば小テストをやっているところをごらんになったかと思いますが、あのシステムでございます。やはりそういうものも子どもたちが使う上では同一のものが望ましいということで、端末の操作性、また中で使うソフトにつきましても、小中一貫した形のものがいいという要望が出ておりますので、それに合わせた形でございます。

〇〇委員

なっているわけですね。わかりました。

〇委員長

ここが一番のポイントですね。

ほかにございませんか。B委員さんどうぞ。

〇B委員

とてもいい選択でよかったなと思いました。

それから、保護カバーについてなんですけれども、これはこちらに周りだけのものが見受けられておるんですけれども、最近、ふたになるような、画面を保護するようなカバーもありますが、そういうことはなく、やはり小学校と同じように周りだけをするような、このカバーでお考えでしょうか。

〇スマイル学習課長

中学校につきましては画面も大きくなると、また自転車通学とかということも考えておまして、今回、今、見積もりの中に入っておりますのは、通常のシリコン製のカバー、それと画面の保護シールをですね、若干、今までよりも厚目のかたいやつをして、プラス、もう1つ、保護ケース、入れるケースをセットにできるということで、そこまで含めて、破損等も考えて、そういう準備は今しております。

〇B委員

ありがとうございます。

〇委員長

機種選定に当たっては、それこそ小中連携じゃありませんけれども、利活用するためにはつながりがよいということでこの機種に決めたということです。よろしいでしょうか〔「異議なし」の声あり〕。

そしたら、異議なしと認めて原案のとおり可決いたしました。ありがとうございます。この後もどうぞよろしくお願いいたします。

では、協議事項でございますが、何かございましたら。A委員さんどうぞ。

〇A委員

ちょっとどこのところで言うか迷ったんですが、先日、別府で教育委員の第2ブロックの研究協議会があって、その中で、教育委員会制度改正のことについて文部科学省の方から説明があったんですが、教育委員の定数のことなんですが、今回、教育制度改革で教育委員長と教育長が一緒になった新教育長がつけられるということですが、新教育長は一般職から今度は特別職になって、新教育長は教育委員から外れるということで話があったんですよ。

その場合は、新教育長プラスの9名、9名というのは今の4人の教育委員と、今、公募されておる5人で9人なんですけど、文部科学省の説明でも、例えば条例上5人と今なっているところは、新教育長プラス委員が4人だから条例改正が必要ですよということで話があったんですよ。

それで、武雄の場合も新教育長プラスの9名となった場合に、前回、7月のときに、教育委員の定数増についての議案の中の参考資料に、武雄市教育委員会は10人の委員をもって組織する、「もって」となっているんですよ。そうした場合は、文科省の説明からすれば新教育長は委員ではなくなりますので、教育委員は9人になるんですよ。その場合は、この条例改正というのが当然必要になってくるんじゃないかなと思ったんですが、そこら辺はどうなりますかね。

○教育総務課長

今おっしゃるとおり、今の教育長が教育委員から外れますので、その段階では9名になるんですけども、条例につきましては改正をしないで10名のままでいって、教育長の後任につきましては、新しく教育委員さんをまたお願いするという形で、10人については変えないように考えております。そこらはちょっと事務方のほうでも議論した話ですけども、また3月時点で1名減の9名にするという条例改正もおかしいよねという形になりまして、結果的には教育長の後任を選ぶということで、10人は維持していこうという結論でございます。

○A委員

そして、4月以降に9人で、あと1人増やすということですか。

○教育部長

4月以降というよりは、今の教育長が新教育長になられた時点で欠員が出ますので、その時点でということです。4月以降どの時期になるかわかりませんが、とにかく新教育長になられた時点で欠員になりますので、その時点で1名補充するということになります。

ただ、先ほど課長が言いましたように、これは教育委員会サイドの考えで、それを市長部に伝えていますが、最終決断は市長になりますので、1人減らそうとなれば9名に条例改正をするというのも可能性はあります。ただ、これだけ教育改革を進めていますので、それはないだろうと私たちは考えていますけれども。

○A委員

ちょっと今の段階で1名減の条例改正もどうかなと思ったもんですから。ありがとうございます

いました。

○委員長

よろしいでしょうか。

○A 委員

はい。

○委員長

ほかに〔「なし」の声あり〕。

ありませんでしたら、各課からの報告に移りたいと思います。

では、各課からの報告、まず教育総務課長どうぞお願いします。

○教育総務課長

9 ページ、1 行事報告、2 行事予定について、平成26年10月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

では、学校教育課長どうぞ。

○学校教育課長

10ページ～11ページ、1 行事報告、2 行事予定、3 寄附採納について、平成26年10月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

では、スマイル学習課長どうぞ。

○スマイル学習課長

12ページ～13ページ、1 行事報告、2 行事予定について、平成26年10月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、文化・学習課、ずっと続きをお願いいたします。

○文化・学習課文化財係長

14ページ～18ページ、1 行事報告、2 行事予定について、平成26年10月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、図書館・歴史資料館お願いいたします。

○図書館・歴史資料館長

19ページ～20ページ、1 行事報告、2 行事予定、図書館視察対応について、平成26年10月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、未来課長どうぞ。

○未来課長

21ページ～22ページ、1行事報告、2行事予定について、平成26年9月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

ただいまの各課からの報告でございます。何か御質問ございませんか。

ちょっと確認ですけど、学校教育課長さん、英語スペシャリスト育成プランの日程ですが、武雄中学校が16時10分から17時25分ということですね。

○学校教育課長

はい。

○委員長

そして、こっちの15時30分というのは山内中学校ということですね。

○学校教育課長

はい、そうです。

○C委員

同じですけど、これはオープン授業で行われるんですか。

○学校教育課長

基本的にオープンではございませんけれども、初回につきましては、せっかくですので、皆さんに来ていただければということで。

○C委員

私ちょっと行けそうになかったものですから。わかりました。

○学校教育課長

ただ、オープンではございませんけれども、委員さんに関しましては、いつ学校を見に行っていたいただいても対応ができますので、時間を見つけられて顔を出していただければと思います。

○委員長

A委員さんどうぞ。

○A委員

花まる授業の福岡等への視察、これは小学校の教職員の先生方を対象にして今後も続けられるんですか。

○スマイル学習課長

11月上旬に実施校が決定をすれば、実施校の先生方等の研修で再度またお願いをすることになるかなと思っております。

○委員長

ほかにございませんか。

文化・学習課で係長さんに突然ですが、官民一体型学校づくりを今、市で進めているわけですが、社会教育委員さん、この方々は、こういうふうなものに対してのかかわりというのは今のところはしていらっしゃいますか。

○文化・学習課文化財係長

済みません、私がそこら辺は係が違うもので、ちょっと不勉強で申しわけございません。ちょっとお時間をいただいてもいいでしょうか。係の者に連絡をとってみますので。済みません、ちょっと保留させてください。

○委員長

地域と一体ということになったら、社会教育委員さんは何かここにかかわっていただいてもよくないかなと思いましたが。

ほかにこの行事報告について何かございませんか〔「なし」と声あり〕。

そしたら、係長さんにはまた後で報告することにして、時間の都合もございますので、先に進みます。

次の開催日程でございます。11月20日10時からの予定ですが、いかがですか。

○C委員

10時ですね。

○委員長

はい、午前中です。

いいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、11月20日10時から11月の定例教育委員会を行います。

○教育総務課長

場所は3階会議室。

○委員長

場所は3階の会議室だそうです。

○文化・学習課文化財係長

お答え申し上げます。

社会教育委員さんが今12名いらっしゃるわけですがけれども、の時点ではこの社会教育委員さんを対象にして官民一体型学校づくりの取り組みというのは、特に説明は今のところしておりません。

ただ、社会教育委員さん、年に2回ほどの活動がございまして、この11月ぐらいにまた集

まりをする予定にしているということでございました。その会議の中では、公民館が事務局となって官民一体型学校づくりを進めておりますので、そういった仕組みとか経過についてはお話をする予定という系の回答でございました。よろしくお願いいたします。

○委員長

地域と一体となって取り組むわけですから、社会教育委員さんのいろいろな御指導、お力添えもいただきたいと思いますので、今から何かにつけて提案したらどうかなと思いますけど、いかがでしょうか。これは私一人で言っておりますが。

○C委員

いや、大事なことですよ。

○文化・学習課文化財係長

ありがとうございます。

○委員長

そしたら、一応説明方お願いしておきます。

そしたら、各課からの報告はもうこれで打ち切りたいと思います。

そして、次の開催日は、11月20日10時から3階会議室です。

○文化・学習課文化財係長

ありがとうございます。

○委員長

では次、その他で、C委員さんどうぞ。

○C委員

ずっと前に、私、学校にボランティア室みたいな空き教室を使った町民の居場所という話をしたことがあったんですが、武内小学校が今度、推進本部を設置いたしましたですね。私、それは想定したようなことなんですけど、やっぱりこの大改革を成功裏におさめるためのキーを握っているところじゃないかなと思っているんですよ。それで、モデル的、先導的、武内だけじゃなしに、やはり全小・中学校、推進本部あたりが設置できるような応援体制をつくっていただいて、そして、校長あたりに、あるいは協議会の会長あたりと話をさせていただいて、学校にそういうふうな町民の居場所といいたいでしょうか、そこのところから、私、非常に大きなものがふくれ上がっていくような感じがしてならないわけですね。だから、ぜひそのような推進を力強くしてほしいと思っているところです。これが1点ですね。

それからもう1点は、第2回目の花まる学習会のときに、市村自然塾の塾生だった保護者の方が2人お見えになりまして、「市村自然塾で先生がやられていたような内容ですね」ということを言われてですね、そうなんです、私、39歳のときに県の社会教育課に配属になりまして、そこで赴任したら、人間コンパスだとか、あるいは6・6討議法のバズセッションとか、パネルディスカッションのやり方だとか、フォークダンスだとか、キャンプのやり

方だとか、あるいは子どもたちとの昔遊びのやり方だとか、そのようなことをずっと教えられてきたんですね。

その当時、社会教育主事は、黒髪少年自然の家とか北山少年自然の家とか3人ずつおりましたが、それから、教育事務所には社会教育主事が5教育事務所の中に2人ずつおりました。県には派遣の社会教育主事が5人おりました。これが市町村長さん方の分捕り合戦が行われて、3年間の派遣をやるんですけど、効果があるんですね、だから欲しいわけです。それから、県には20人の社会教育主事がおったんです。合計45人から50人、社会教育主事がおまして、教育事務所には2人ずつの社会教育主事が、担当区の子どもクラブだとか青年団、婦人会等々のところに指導に行ったり、夏休みに回ったりしておったわけです。

そのような社会教育主事が、生涯学習の台頭によって消えていくんですよ。それが非常に地域の教育力が脆弱化する原因になってくるんですね。今、見落とされているんですが、学力が学力調査で非常に高いところ、これは北陸3県、福井、石川、富山、それから、秋田モデルといって秋田、青森、岩手ですね、こういうところは厳然として社会教育主事が配属されているんですね、そのような花まるみたいなことをやっているんですよ。

そのようなことを考えていきますときに、今度、大分での発表のときに第2ブロック、分科会では大和高田の社会教育主事さんが土曜授業について発表されたりいたしまして、そのようなことから考えていきますときに、学校教育課には指導主事がいっぱいおるんですけど、社会教育主事というのは皆無の状態になってきておりまして、私はやっぱり現職の非常に指導力のある社会教育主事をぜひ教育総務課の中に2人ほどできたら、そして、指導主事と一緒に切磋琢磨して地域社会の教育力を高めるような、そのような御検討をいただければと。この2点ほどお願いをしたいと思って、今後御検討いただきたいと思ったところであります。

○委員長

今のC委員さんからの提案で、ほかの委員さん方でどうでしょうか。各校に空き室があったら、そういう町民の、地域の方々の居場所としての教室をつくったらどうかということですが。

○B委員

今のお話、大変いいことだなと思ひまして、本当に武内小1校にとどまらず、他校でもそういった居場所づくりということをぜひ進めていただけたらいいなと感じました。

と申しますのが、市内に住んでおられますお母様とお話しする機会があった際に、今、非常に小・中学校の教育がどんどん革新的に進んでいく中で、やはりそこについていき切れていない子どもたちの居場所というのが非常に必要になってくるのではないかという話になりまして、ついていける子どもにとっては武雄市の教育が非常にすばらしく、いいんですけれども、なかなかそこに乗り切れていない子どもたちというのも実際にはいるようで、私自身、その現場にはいないもので、はっきりとは申し上げられませんが、やはりまだ乗り切

れない、また、高校受験を前にしても、そこに行き切れない子どもたちというところこそ、本当にみんなが目を向けて、人としての自尊心が高まるような居場所が非常に大事なんじゃないかという話をしたところでした。小学校でも、中学校でも、そういった町民の方を含めた地域の人目がある場所というのがもし実現すれば、高校に行こうということまでが考えられない子どもたちにとってひとつの場所になって、また違う、いろんな意味での自尊心を高めるというところで、うまく表現できないんですけども、非行に走らないような工夫の一つにもなるんじゃないかと思いました。

○委員長

それぞれ学校でいろいろと物理的な条件もあるかと思いますが、官民一体型学校に選ばれた学校ばかりじゃなくて、これをきっかけとして地域がかかわるという意味からも、こういう教室が校舎のつくりによってあったりすれば、その付近も今からの検討課題になるかと思いますので、ちょっとそこも頭に入れながら今後進めていただければと思います。

それから、次の社会教育主事というのはどうでしょうか。

○委員

これは今後御検討いただくということで。

○委員長

今後検討いただくことで、そういう御意見もあったということで検討をいただきたいと思います。検討してみてください。

ほかにございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

そしたら、本当に武雄市内が、学校教育ばかりじゃなくて地域社会の教育ということにも目を向け、いろんな活動がなされています。でも、その活動の中心といいますか、逆に支えていただいているのは、市の教育関係者の皆様方のいろいろな支えがあって進んでいるようでございます。どうぞ今後もこれが効果的に、そして継続していくように、何かいろいろと皆さん方と私たちとで検討を進めていきたいと思います。これが私たちの今からの課題になっていくかと思います。

では、これで10月の定例教育委員会を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

午後3時25分 閉会